

祝 辞



福岡市長
桑原 敬一

本日、福岡北ロータリークラブにおかれましては、創立10周年記念式典をこのように盛大に举行されますことに対しまして、心からお祝い申し上げます。

皆様方には、日頃から、その崇高なロータリー精神に基づき、社会福祉、青少年の健全育成をはじめ、明るい地域社会の実現に向け、種々の奉仕活動を実践しておられますことにつきまして、深く敬意を表する次第でございます。

福岡北ロータリークラブは、昭和58年6月の創立以来、歴代会長をはじめ、会員の皆様方の御熱心な御活動により、地域社会へ大きな貢献をされており、現在では会員数約70名を擁するクラブに発展され、御活躍いただいておりますことは、私ども福岡市民にとりまして、誠に心強い限りでございます。特に貴クラブは、「ひとを育てる」ということを活動の基本とされ、青少年の教育をはじめ、地域に根ざした幅広い奉仕活動を行っておりますことは、御同慶の念にたえません。

この度、創立10周年記念事業として、福岡

市立こども病院に「こどものビデオライブラリー」を寄贈されると伺っており、病気の子ども達の大きな慰めになることと存じます。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

福岡市では、来たるべき21世紀に向けて、「健康で思いやりのある人づくり・地域づくり」を市政の柱として、「健康都市ふくおか」の実現に向け、積極的に取り組んでいるところでございます。

また、平成7年には、世界の学生のスポーツの祭典「ユニバーシアード福岡大会」が福岡市で開催され、国内はもとより、世界約130の国・地域から、約6000人の選手・役員の皆様をお迎えすることになっております。

皆様方におかれましては、ユニバーシアード福岡大会を成功に導いていただくためにも、今後なお一層の力強い御支援・御協力を賜りますよう切にお願い申し上げる次第でございます。

終わりに、福岡北ロータリークラブの今後ますますの御繁栄と、皆様方の御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



R I 第2700地区ガバナー
川村 謙二

福岡北ロータリークラブには、本日めでたく創立10周年の記念式を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

第2700地区の地区史によりますと、当クラブは昭和58年、福岡城西ロータリークラブがスポンサークラブとなり、当時の中牟田喜一郎ガバナーなどのお世話で、6月3日に創立総会を開き、国際ロータリー加盟認証が6月22日、とハイスピードの誕生でありました。

当クラブがこの輝かしい10周年を迎えられましたことは、歴代会長・幹事並びに会員の皆様が、常にロータリーの綱領に示されています所の、奉仕の理想の実践に努められ、色々のご苦勞を重ねられ地域社会に貢献されたことによって、今日の成果があったことと深く敬意を表するものであります。

さて、昨年7月末、公式訪問で福岡北クラブに伺いましたときの印象は、今でも鮮明に記憶されています。創立の時より、クラブの簡素化、合理化、冗費節約型運営の「手づくりクラブ」をモットーに年輪を重ねられ、クラブの堅実な成長、合理化による財務の豊かさは、役員・委員長まかせでなく全員参加でなされたもので、この10年の節目を契機に、皆様が描かれた夢である、奉仕活動の充実が実践されるためのものであります。

すなわち、ボルドー北クラブとの交流、留学生との懇談会などの世界理解推進、RYLA委員会、青少年委員会の次代を担う青少年

たちへの情熱は、インターアクト並びにロータリーアクト設立への準備であり、社会奉仕活動はボランティアグループ「お便りの会」への支援を軸に、高齢化対策、環境問題などの北クラブ独自の事業推進へのステップでした。これらすべてのものが、地道ながらロータリーの本義を勉強理解され、手づくりの温かい楽しいクラブづくりを中心に、会員それぞれが、その職業に高い倫理観をもって、奉仕しておられるからだと存じます。

R I 会長ダクターマンのテーマである「まことの幸福は人助けから」の模範的な推進クラブとして、今後もバランスのとれた四大奉仕活動が充実されますことを期待しています。

それにしても、第10代故前田会長が高邁な理想と情熱をもってクラブ運営についての夢を語られたのは、今でも強烈に思い出されますし、その感動は永久に焼き付いて、頭より離れることはないと思います。どうか、世のため人のために尽くそうという、ロータリーの奉仕の心を、この10年目を節目として、大きく当地区のリーダークラブに発展されますよう、一層のご尽力を捧げられ、ロータリーを頌ち合って頂ければと存じます。

ここに謹んで本日の式典をお祝い申し上げ、今後のご発展と、会員各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、私の祝辞といたします。

祝 辞



福岡城西ロータリークラブ
会長 後藤 照男

本日、めでたく創立10周年を迎えられ、私共、スポンサークラブとしてこんな喜ばしいことはありません。心からお祝いを申し上げます。

福岡北クラブの創立には、中牟田喜一郎パストガバナーの御指導のもと、福岡城西クラブから平野特別代表をはじめ、新家パストガバナーなど、6名が移籍され、キーメンバーとなって設立にあたりました。

1983年、福岡では11番目のクラブとしてめでたく認証を受けました。

50名のチャーターメンバーで発足された当初は、会員の増強をはじめ、色々な御苦勞があったと推察致します。

しかし会員の数は少なくとも、一切の無駄を省き、経費を節約し、徹底した簡素化、合理化をはかって、会員一人一人が、小さなことまで責任をもってクラブの運営にあたられ、節約された分を社会への奉仕に向けるなど、まことにユニークなクラブとして、今日まで成長をとげてられました。

とりわけ、平野特別代表が生前に提唱されました「樹を育てることより人を育てよう」と、ボーイスカウト福岡第十四団の発足と、その育成援助にそそいだ青少年の奉仕活動こそは、まことに素晴らしいものがあります。

このように手造りのクラブを目指しながら、着々と実績をあげてこられた貴クラブは、歴代の会長、幹事を中心として、会員皆様が一

致結束して努力された賜ものであり、深い敬意と尊敬の念を表する次第であります。

それにしましても、この10年の間、熱い思いを傾けてこられた、平野特別代表や前田会長の姿は今はなく、何とも惜しまれてなりません。

これからは、今日の創立10周年記念式典を一つのステップとして、更に20周年に向って、新たな決意のもと、益々充実発展されますよう、お祈り致しまして祝辞と致します。

本日は又、御丁寧な感謝状を頂きまして有難うございました。